

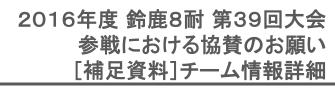
# Suzuka Bhours

## 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]チーム情報詳細









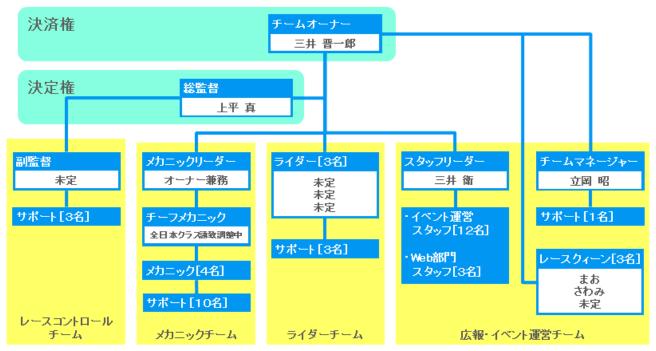


## 目次

■1. チーム体制	
[1]体制図 [2]担当範囲	
■2. 実現計画	
[1]バイク業界活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
[3]チーム体制の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [4]順位の向上/実現計画の改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
■3. 年間スケジュール	
[1]車両制作/改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•
[3]チーム体制強化/スタッフ育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11ページ
[4]体力強化/走行練習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [5]イベント/トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
■4.8耐ウィーク	
[事前準備] •••••••••	
[公式練習] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23ページ
[前夜祭] • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
[決勝]	26ページ
■5. 予算表	
[トップ3目標]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
[トップ10目標]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
しつ凹口(添」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レビューン



## 1. チーム体制[1]



弊チームは4日間に渡るイベントを通して上記体制を組み、 必ず完走し、そして一つでも、二つでも上位獲得を目指します。

<u>当体制は上位チーム勢と 同等の体制となっており、</u> 15位より下位のチームにて当体制を組む事は困難です。

- 完走率向上、上位獲得の為に必要な体制を考慮
   下位チームはレースコントロール、メカニックチーム要員が少なく、 故障、転倒といったアクシデントに対応する力が不足している為、 弊チームでは8時間戦い切る為の戦略を随時、迅速に立てる体制、 マシン性能の安定化を第一に図る事を意識しての体制を整えます。
- "プライベータ―チームならでは"という特性を考慮 スタッフリーダー、レースクィーンと家族が配置されている様に、 日頃から家庭、店舗でチームオーナーに関わる人を用いる事により、 他チームには無い、非常に高い結束力を持った体制を整えます。
   ※プライベーターチーム:メーカーではないレース活動を行うチーム



## 1. チーム体制[2]

- ・チームオーナー(戦略) 弊チームにおける代表であると共に、弊チームの責任者となります。 総監督とチームとしての戦略を立てる、最も重要な判断を行います。
- ・総監督(戦略、作戦、戦術) 常に全体状況を把握し、チームオーナー意思を的確且つ迅速に チーム全体に伝達すると共に、円滑なレース展開を行える様、 戦略に基づき、直系のレースコントロールチーム指揮を執ります。
- ・レースコントロールチーム(作戦、戦術) 総監督指揮の下、路面状況やマシントラブル、ライダーの身体状況 といった、刻々と変化するレース状況に合わせた対応を行います。
- ・メカニックチーム(戦術、後方支援) 参加チーム最高順位6位の経験を誇るチームオーナーを筆頭に、 全日本クラスのメカニックを中心に迅速なピット作業を行います。
- ・ライダーチーム(戦術) チームの主役であり、チーム全員からの期待を一身に背負い、 8時間を3人で戦い抜き、一つでも上位獲得を目指して走行します。
- ・広報/イベントチーム(後方支援) 協賛各位の認知度・イメージ向上のPRに直結するチームであり、 最も注目度を持つレースクィーンをチームオーナー直結で配置し、 協賛各位にスポンサーメリットを獲得頂く様、PR活動を行います。 また、下位チームではWeb担当を配置する事が容易ではなく、 近年において最も情報拡散の期待を持てるWeb媒体効果を余り 期待出来ませんが、弊チームではWeb担当を配置する事で、 情報拡散を意識したWeb媒体におけるPR活動を行います。 イベント運営チームにて、各メンバーが最大限の力を発揮出来る様、

ケータリングや情報収集といった、多岐に渡るサポートを行います。



## 2. 実現計画[1]

### バイク業界活性化

イベント活動 広報活動 実績獲得

#### 資金調達

スポンサー獲得 店舗売上向上 事業拡大

### チーム体制の確立

機器強化 スタッフ育成 ライダー選定

### 順位の向上

車両強化 ライダー育成

### •バイク業界活性化

チーム結成理由でもありますが、バイク業界自体の活性化無しに 鈴鹿8耐を含めたバイク業界の発展は見込めないと考えております。

#### <イベント活動>

鈴鹿8耐以外のイベント(大阪・東京モーターサイクルショー等)に 積極的に参加し、中高年層を中心とする『リターンライダー』の獲得、 若年層、女性といった新規ユーザ層を獲得し、販売促進、整備、 カスタム案件等を増加させる事で、バイク業界活性化に繋げます。

#### <広報活動>

当店Webサイト、facebook等のSNSサイトから情報発信を行い、 客観性のある各種メディア記事、ニュース発信を目指します。 そして、目に触れる機会を増加させる事により、鈴鹿8耐という イベント自体の認知度向上から、バイク業界活性化に繋げます。

#### く実績獲得>

鈴鹿8耐で結果を残す事で、日本の技術を世界に示すと共に、 プライベーターチームである弊チームとしての実績を獲得し、 同業種への活力を与える事でバイク業界活性化に繋げます。 ※プライベーターチーム:メーカーではないレース活動を行うチーム



## 2. 実現計画[2]

### バイク業界活性化

イベント活動 広報活動 実績獲得

### 資金調達

スポンサー獲得 店舗売上向上 事業拡大

### チーム体制の確立

機器強化 スタッフ育成 ライダー選定

### 順位の向上

車両強化 ライダー育成

### •資金調達

鈴鹿8耐参戦チーム全てが抱えている大きな課題であり、 <u>弊チームにおいては現状、最大の課題となっております。</u> 当課題の解決に向け、ご協賛をお願い致しております。

#### <スポンサー獲得>

協賛各位のメリットについて、最大限の効果を生む方法を検討し、 最良である契約を結ぶと共に、更なるスポンサー獲得に繋げます。

#### <店舗売上向上>

オーナー経営店舗の売上を向上させ、自己資金の増加を図ります。 前回大会における効果として、新規顧客の増加を実感しております。 8月度の前年度比が来客数30%、売上35%アップしております。

#### <事業拡大>

レース順位の向上に伴い、オリジナルパーツの制作販売、 レース車両を専門に扱う店舗の出店等を視野に入れております。 また、バイク販売・修理に拘らない新規ビジネスは常に模索中です。 望ましくは、協賛各位とのコラボレーション企画といった、 参加企業全てに実益ある事業を実現したいと考えております。



## 2. 実現計画[3]

### バイク業界活性化

イベント活動 広報活動

実績獲得

#### 資金調達

スポンサー獲得 店舗売上向上 事業拡大

### チーム体制の確立

機器強化 スタッフ育成 ライダー選定

#### 順位の向上

車両強化 ライダー育成

### ・チーム体制の確立

レースにおける上位獲得の必須条件として最も重要な事は、 マシン性能が高い事、ライダーの運転スキルが高い事ですが、 その二つを揃えれば優勝出来る程、鈴鹿8耐は甘くありません。 特に鈴鹿8耐においては、チームワークが非常に重要となる為、 弊チームではチーム総合力の強化を優先と考えております。

#### <機器強化>

給油システム、タイヤ交換システム等を高機能な機器に切り替え、 作業スピード・精度を向上し、上位獲得可能な体制を確立します。

#### <スタッフ育成>

上位を獲得する為、スタッフ全体のサポート能力を向上させ、 ライダー及び、メカニックがスタートからゴールを迎える迄、 常に最大限の力を発揮出来る体制を確立します。 また、若いメカニックに鈴鹿8耐という大舞台を経験させ、 レースメカニックとしてのスキル向上を図ります。

#### <ライダー選定>

次世代を担う若いライダーを発掘し、共に成長する事により、ライダーとチームが一体となって目標に向かう体制を確立します。



## 2. 実現計画[4]

### バイク業界活性化

イベント活動 広報活動 実績獲得

#### 資金調達

スポンサー獲得 店舗売上向上 事業拡大

### チーム体制の確立

機器強化 スタッフ育成 ライダー選定

### 順位の向上

車両強化 ライダー育成

### ・順位の向上

当ステップ迄を着実に実施し、初めて上位獲得が視野に入ります。 その上で、視野に入った上位獲得を実現する為の最終計画として、 車両の強化及び、ライダーの育成を計画しております。

#### <車両強化>

速く走る事が出来ないマシンで上位獲得は有り得ません。 ワークスマシンに対抗可能な領域にマシン性能を強化します。 ※ワークスマシン:メーカー直系のチームが使用するマシン

#### <ライダー育成>

洗練したマシン提供により、ライダーをメンタル面からサポートし、ポテンシャルを常に引出す事で、更なる順位向上に繋げます。 弊チームライダーがワークスライダーとなり、世界各国でのレース 経験後、後輩を指導する事で次世代ライダー育成に繋げます。

### ・実現計画の改善

各ステップは上位獲得に向けた優先順位を考慮した計画であり、 随時改善を行いますが、現時点での最良計画と考えております。 当計画に沿って着実に課題解決し、2018年に表彰台に立ちます。



## 3. 年間スケジュール「1-1]

## •車両制作/改善

車両については、前回大会において使用した 『SUZUKI GSX-R1000』を継続使用致します。

<2015年8月中旬~2015年10月末> 前回大会時の転倒におけるダメージの洗い出し 担当: 三井(晋)、[副]イツキ

進行中

<2016年2月上旬~2016年6月中旬> フィッティング加工、車両への組込み 担当:三井(晋)、イツキ

<2016年3月中旬~2016年6月中旬>
フィッティング加工、車両への組込み、カラーリング、スポンサーロゴ入れ担当:三井(晋)、イツキ、全日本ロードレースクラスのレースメカニック1名

<2016年3月下旬~2016年7月中旬> テストライダー試乗による、改善項目の洗い出し 担当:三井(晋)、イツキ、全日本ロードレースクラスのレースメカニック1名 テストライダー:国際A級ライセンス所持者且つ、 全日本ロードレース5回以上、10位以上獲得経験者

■完成時のラップタイム予想 次頁『完成時の鈴鹿サーキットにおけるラップタイム』の通り



## 3. 年間スケジュール[1-2]

•車両制作/改善



<完成時の鈴鹿サーキットにおけるラップタイム>

	前々回大会	次回大会	前回王者	コースレコード
ベスト	2分14.380秒	2分12.000秒以内	2分06.958秒	2分07.943秒
ワースト	2分20.120秒	2分15.000秒以内	_	_
アベレージ	2分18.210秒	2分14.500秒以内	2分08.067秒	2分12.620秒

※前回大会は予選敗退である為、前々回大会を参考記録として記載。



## 3. 年間スケジュール[2]

## •物品調達

車両制作/改善にて必要な物品及び、 ピット作業に不可欠な物品の補強致します。

<2015年8月中旬~2016年7月> 車両制作/改善にて必要な物品を随時発注 担当: 三井(晋)、「副]イツキ

<2015年8月下旬~2016年7月上旬> レース用工具、発電機、送風機、F/Rスタンドの発注 担当: 三井(晋)、「副]イツキ

<2016年5月上旬~2016年5月下旬> スポンサーグッズ(チームシャツ、タオル)の発注 担当: 三井(衛)、「副]三井(晋)

<2016年5月中旬~2016年7月上旬> チームオフィスキー、各種パス、国際ライセンスの発注 担当:三井(晋)、「副]イツキ

<2015年6月中旬~2016年7月中旬> その他の必要な物品の発注 担当:三井(晋)、「副]イツキ

<2016年5月下旬~2016年7月上旬> その他の優先度の高い物品から発注 担当:三井(晋)、[副]イツキ

※各物品における予算については27~29ページの通り

進行中

進行中



## 3. 年間スケジュール[3]

### - チーム体制強化

各スタッフのスキル、個性を把握すると共に、 情報共有を円滑に図れる体制作りを行います。

<2015年9月初旬~2015年11月下旬> ライダーの選定、交渉

担当:三井(晋)、上平

進行中

<2015年11月上旬~2016年3月下旬> チーフメカニック(全日本ロードレースクラス)の選定、交渉

担当:三井(晋)、上平

<2015年9月下旬~2016年4月下旬>

副監督及び、スタッフの選定、交渉

担当:三井(晋)、上平、三井(麻)、立岡

## - スタッフ育成

レースに参加する事で、各メカニックのスキルを向上させると共に、 各スタッフに対し、過去の大会における様々な事例を紹介し、 担当範囲、チームへの貢献について、意識合わせを行います。

<2015年8月中旬~> レースへの参加、各スタッフとの意識合わせ 担当: 三井(晋)、上平、イツキ、立岡

進行中

<2016年4月中旬> 決起集会の実施



## 3. 年間スケジュール[4]

## • 体力強化

ライダーの体力強化を行います。

<2015年10月中旬~2016年7月上旬> ライダーの体力強化

担当: ライダー3名、ライダーサポート3名

<2015年10月中旬~2016年7月上旬> ライディングスキル、身体特徴別の走行時における 負担部位等の調査、体力強化項目の洗い出し、 体力強化方法の検討、安定走行に必要な情報の裏付け

担当:テストライダー、三井(晋)、イツキ、立岡

※テストライダーについては、全日本ロードレースクラスの方5名、 サーキット走行歴3年以上の方10名、運転歴5年以上の方10名、 運転歴1年未満または、ペーパードライバーの方10名程度を想定 全てのカテゴリに可能な限り女性の方も含めるものとする

## •走行練習

車両の仕上りを確認すると共に、第一ライダーに合わせた特性 を各ライダーが把握、車両特性に合わせた走行練習を行います。

<2016年4月上旬~2016年7月下旬> レースへの参加、サーキットでの計測 担当:ライダー3名、三井(晋)、イツキ、



## 3. 年間スケジュール[5-1]

## イベント/トピックス

関連するイベント及びトピックスは下記の通りとなっております。

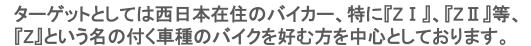
※当イベントを含む、近年における来場者数推移については、 別紙1. 来場者数推移に記載

<2015年10月18日(日)>

#### ■淡路島バイクフェスタ 2015

【イベント概要】

2013年より、淡路市、淡路島観光協会の後援にて淡路島で開催される年次イベントとなっております。



第1回が好評であった為、継続して開催される運びとなった事、 淡路島という、国内有数の観光地・ツーリングポイントである事から、 更なる発展、認知度向上による来場者数増加が期待されております。

#### 【来場者数】

前回開催時:1万2千人程度

#### 【弊チーム出展予定内容】

鈴鹿8耐 前回大会参戦車両及び、カスタム車両の展示 鈴鹿8耐 参戦プロモーションムービーの放送

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

#### 【公式サイト】

http://www.awaji-bf.jp/





## 3. 年間スケジュール[5-2]

## イベント/トピックス

<2016年3月上旬予定>

■モータースポーツファン感謝デー



【イベント概要】

鈴鹿サーキットにて開催される年次イベントとなっております。

ターゲットはイベント名の通りモータースポーツファンとなっており、 当イベントにはF1マシン、SUPER GTといった車も関係する事から、 バイクが好きな方に限定されないイベントとなっております。

また、併設の遊園地と連携している事や、様々な体験イベントを 用意している事から、家族で来場される方も大勢おります。

鈴鹿サーキット主催である事から、多くのメディアも集まります。

#### 【来場者数】

前回開催時:5万7千人程度

#### 【弊チーム出展予定内容】

鈴鹿8耐 次回大会参戦予定車両及び、カスタム車両の展示 鈴鹿8耐 参戦プロモーションムービーの放送

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

#### 【公式サイト】

http://www.suzukacircuit.jp/msfan\_s/



## 3. 年間スケジュール[5-3]

## イベント/トピックス

<2016年3月下旬>

### ■第32回 大阪モーターサイクルショー

【イベント概要】



当イベントにはイベント出展者が様々なジャンルである事から、 レースが好きな方に限定されないイベントとなっております。

また、別棟にてテレビ大阪と実行委員会の共同主催による、 西日本最大級のグルメの祭典を謳う『絶品!超満腹帝国』と 連携している事から、家族、カップルでの来場者も多数おります。

テレビ大阪主催である事から、地上波での放映もございます。

#### 【来場者数】

前回開催時:5万7千人程度

#### 【弊チーム出展内容】

鈴鹿8耐 次回大会参戦予定車両及び、カスタム車両の展示、 ライダーの方を迎えてのトークイベント(前回は藤井謙太選手)、 弊社専属レースクィーンへのボディペインティングパフォーマンス等。 鈴鹿8耐 参戦プロモーションムービーの放送。

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

#### 【公式サイト】

http://www.motorcycleshow.jp/



## 3. 年間スケジュール[5-4]

### イベント/トピックス

<2016年3月下旬(東京モーターサイクルショー前)>

### ■プレスリリース

#### 【トピックス概要】

鈴鹿8耐について、鈴鹿サーキットからプレスリリースが行われます。 記載内容としては、鈴鹿8耐についての説明、参戦チーム紹介等、 全ページフルカラーで印刷される為、PR活動に繋がります。 また、プレスリリースにてエントリーネームが一般に公表され、 Webのキーワード検索の対象となります。



## 3. 年間スケジュール[5-5]

### イベント/トピックス

<2016年3月下旬>

### ■第43回 東京モーターサイクルショー

【イベント概要】



東京ビッグサイトにて開催される年次イベントとなっております。

単独イベントにも関わらず、非常に多くの方が来場される事、 車両、パーツメーカーにおいては、新標品発表の場となる為、 各種メディアからの注目が非常に高いイベントとなっております。

また、『レディスサポートスクエア』という女性向けブースもあり、 ウェアを試着して車両に跨る事が出来る為、一人で来られる女性、 カップル、ご夫婦、家族連れまで幅広い方々が来場されます。

"オシャレも楽しみたい"という女性のニーズを掴んだブースであり、コラボレーション企画によるウェア等の展示・販売が可能となります。

#### 【来場者数】

前回開催時:13万2千人程度

#### 【弊チーム出展予定内容】

鈴鹿8耐 次回大会参戦予定車両及び、カスタム車両の展示、 弊社専属レースクィーンへのボディペインティングパフォーマンス等。 鈴鹿8耐 参戦プロモーションムービーの放送

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

#### 【公式サイト】

http://www.motorcycleshow.org/



## 3. 年間スケジュール[5-6]

## イベント/トピックス

<2016年4月中旬>

### ■決起集会

#### 【トピックス概要】

協賛各位をお招きし、鈴鹿8耐に向けた決起集会を行います。 協賛各位の事業を、より一層飛躍させる糧として頂ける様、 弊チームとしてコネクション獲得の場をご提供させて頂きます。 獲得したコネクションから新たなビジネスチャンスに繋げる為、 コンタクトを図りたい業界、特定企業等、協賛各位のご意向を 事前にヒアリングさせて頂き、可能な限りご期待に添える様、 弊チーム一同、尽力させて頂く所存です。

#### 【開催場所】

未定

※協賛各位に足を運んで頂く為、2016年2月中旬迄に確定

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

【協替企業一覧(弊社特設ページ)】

http://www.favorite-factory.com/8tai/kyosan.html

※協賛について契約確定後、随時追加



## 3. 年間スケジュール[5-7]

## イベント/トピックス

<2016年4月下旬>

#### BIKE! BIKE! BIKE!



#### 【イベント概要】

鈴鹿サーキットにて開催される年次イベントとなっております。

上記モータースポーツファン感謝デー同様、体験型のイベントであり、 実際に鈴鹿サーキットを走行出来る事から、ターゲットはバイカー中心 となっておりますが、他にも様々な体験イベントを用意している事から、 ご家族で来場される方も大勢おります。

現時点では開催歴が浅い為、来場者は余り多くありませんが、 回を重ねる毎、他イベントでのPR活動による認知度の向上から、 来場者の増加を十二分に見込めるイベントとなっております。

#### 【来場者数】

前回開催時:1万人程度

#### 【弊チーム出展予定内容】

鈴鹿8耐 次回大会参戦予定車両及び、カスタム車両の展示、 弊社専属レースクィーンへのボディペインティングパフォーマンス等 鈴鹿8耐 参戦プロモーションムービーの放送

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、スタッフ5名、弊チーム専属レースクィーン2名

#### 【公式サイト】

http://www.suzukacircuit.jp/bikebike/



## 3. 年間スケジュール[5-8]

## イベント/トピックス

<2016年6月中旬>

### ■選手・車両お披露目会

#### 【トピックス概要】

協賛各位をお招きし、鈴鹿8耐を戦うライダー及び、 参戦車両のお披露目会を行います。

決起集会同様、協賛各位の協賛メリットに繋がる様、弊チームー同、尽力させて頂く所存です。

また、車両を間近でご覧頂き、ロゴ配置のご確認をして頂くと共に、 鈴鹿8耐の楽しさを少しでもお伝え出来れば幸いと思っております。 そして、弊チームと共に、鈴鹿8耐というイベントにご参加頂き、 レース観戦を始め、『お祭り』を楽しんで頂く事も目的としております。

#### 【開催場所】

未定

※協賛各位に足を運んで頂く為、2016年5月初旬迄に確定

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、主要スタッフ、弊チーム専属レースクィーン2名

【協賛企業一覧(弊社特設ページ)】

#### 決起集会と同

※協賛について契約確定後、随時追加



## 3. 年間スケジュール[5-9]

## イベント/トピックス

<2016年6月下旬>

#### ■メーカー合同テスト

#### 【イベント概要】

鈴鹿サーキットにてメーカーと合同でテスト走行を行います。 当テスト走行では車両メーカーを始め、パーツ、タイヤメーカー等、 モータースポーツ関連業界からの注目が中心となっておりますが、 新規事業展開を展望する企業の方々も目を光らせております。 弊チームとして、協賛各位のビジネス拡大へ向けた視点に立ち、 有益情報を収集し、ご提供させて頂くと共に、協賛メリットでもある 認知度向上に繋がる様、注目を浴びる走行にてPR活動を行います。 鈴鹿8耐の前売りチケットをお持ちの方に限り、ピットウォークが 無料で可能である事から、熱心なファンの方々が来場されます。

#### 【担当】

三井(晋)、イツキ、全日本ロードレースクラスの方、 レースコントロールチームスタッフ、 上記メカニック以外のメカニックチームスタッフ、 弊チーム専属レースクィーン2名



## 4. 8耐ウィーク[事前準備]





車両の仕上り次第では、8耐ウィーク開始2日前より鈴鹿に参ります。

#### 決勝に向けた、各スタッフの戦いはこの時より始まる事となります。

車両を迅速に整備する為のピットであると共に、多くの方が訪れる事となり、 協賛各位の企業イメージ及び、認知度の向上を図る為のピットとなります。

協賛各位の商品展示やチラシ設置、PRムービーの放映スペースの確保等、 人の流れを想定し、ピットウォークに訪れた方々へのアピールを行います。

<u>弊チームとして、可能な限り集客に努める事が大前提である事から、</u> 他チームと差別化を図るアピール方法を考慮し、ピット設営に臨みます。

そして、上位獲得に向けた万全の体制作りを行い、目標を達成致します。







## 4. 8耐ウィーク[公式練習]





※詳細なタイムテーブルについては別紙2.タイムテーブルに記載

<u>鈴鹿8耐 公式プログラム4日間における8耐ウィーク初日であり、</u> 全参戦チームにおいても一年で最も熱く、長い戦いが始まると共に、 毎年数々のドラマが生まれる『鈴鹿8耐』の舞台が幕を開ける事となります。

初日は2度の公式練習となるフリー走行を行います。

フリー走行にて、完成させた車両の最終確認・微調整を行うと共に、 メカニックチームにおけるピット作業についても確認を行います。

各ライダーが、車両に微塵の不安も持たずに走行出来る様、 走行後に十分ヒアリングを行い、2日目の予選に備えます。







## 4. 8耐ウィーク[公式予選]





8耐ウィーク2日目は2度のフリー走行、公式予選走行を行います。

初日を含め、3度目のフリー走行後、ピットウォークが行われます。

車両やレースクィーンの写真撮影を行うファンの方々で溢れ、

このピットウォークから鈴鹿8耐におけるPR活動が本格化していく為、 注目を集める様、専属レースクィーンを筆頭にアピールを行います。

続く公式予選においては、決勝でのスタート位置が掛かっており、 各ライダーのポテンシャルを全て引き出せる様、尽力致します。

また、公式予選10位以内に入った場合、『TOP10 TRIAL』と呼ばれる、 車両がサーキットを単独走行出来る権利を獲得する事となります。

<u>弊チームとしては、2017年度大会での目標順位ではありますが、</u> <u>オーナー、総監督の判断によりアタックする事も想定しております。</u>







## 4. 8耐ウィーク「前夜祭]





フリー走行、出走権がある場合、『TOP10 TRIAL』を行います。

ピットウォーク後、初日から数えて5度目のフリー走行が行われます。

例年、決勝前日である3日目が土曜日に設定されている事、

国内のレースイベントとしては珍しい『前夜祭』も行われる為、

観客数が一気に増加する事に伴い、更に盛り上がりを見せます。

<u>夜のサーキットという特殊な環境を活かし、昼間とは異なる方法で</u> <u>注目を集める様、専属レースクィーンを筆頭にアピールを行います。</u>

華やかな雰囲気を横目に、メカニックチームはピット作業の通し練習、 レースコントロールチームは翌日、決勝8時間の天候予測、自チーム、 他チームの状況より、一つでも順位を向上させる為の戦略を立てます。





	送手	時間	195 195	タイセ	松业
1	福山選手	12:35	18	0.和 膣	30 €
2	水化麻 選手	13:17	22	@前後	30 L
3	佐合選手	14:13	23	0前後	30 L
4	福山選手	15:09	2/	9前後	30 8
5	木肟萩選手	15:54	22	四前 狻	30 L
6	佐合選手	16:50	રો	0前 枚	30 2
7	木佐森選手	17:47	ZZ	回前程	30 Q
8	福山選手	18:42	23	818	30 Q
					20000000
=0		-			



## 4. 8耐ウィーク[決勝]





2度のピットウォーク、ウォームアップ走行後、遂に決勝での走行を行います。

#### 決勝日は当然の事ながら、4日間において最も観客が集まる事となります。

それに伴い、各種メディア記者及び、取材陣の数も最大となりますので、 この日迄に培ったPR活動手段を全力で活かし、弊チームの認知度向上、 ひいては協賛各位の認知度向上に繋がる様、最大のアピールを行います。

この鈴鹿8耐決勝という舞台に向けて準備してきた事を全て出し切り、 <u>5年計画において、3年目の目標である20位以内を必ず獲得致します。</u> そして、ご来場頂いた協賛各位と共に、花火を観覧したいと考えております。

以上で『2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会』の幕は閉じる事となりますが、 閉会と共に、次回大会において、更なる順位向上を目指し、始動致します。







## 5. 予算表[トップ3目標]

以下表は2018年度大会においての目標である、 3位以内獲得に対する予算表となっております。

車両制作/改善費用	¥200, 000, 000
広告費用	¥50, 000, 000
練習費用	¥10, 000, 000
機器費用	¥10, 000, 000
ライダー報酬	¥12, 000, 000
耐久ウィーク費用	¥18, 000, 000
計	¥300, 000, 000



## 5. 予算表[トップ10目標]

以下表は2017年度大会においての目標である、 10位以内獲得に対する予算表となっております。 ※各項目の内訳については別紙3. 予算詳細に記載

車両制作/改善費用	¥28, 504, 800
広告費用	¥5, 460, 000
練習費用	¥4, 206, 000
機器費用	¥7, 600, 000
ライダー報酬	¥7, 000, 000
耐久ウィーク費用	¥14, 006, 500
計	¥66, 777, 300



## 5. 予算表[今回目標]

以下表は今回大会においての目標である、 20位以内獲得に対する予算表となっております。 ※各項目の内訳については別紙3. 予算詳細に記載

車両制作/改善費用	¥5, 750, 000
広告費用	¥5, 460, 000
練習費用	¥2, 264, 600
機器費用	¥700, 000
ライダー報酬	¥1, 000, 000
耐久ウィーク費用	¥8, 371, 000
計	¥23, 545, 600

### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙1. 来場者数推移

### <鈴鹿8耐における来場者数推移>



開催年	開催回	木	金	土	日	土日計	総数	前回比	増減
2006	29	11,000	14,500	41,000	73,000	114,000	139,500	100%	
2007	30	11,000	14,500	41,000	75,000	116,000	141,500	101%	Δ
2008	31	11,000	13,500	38,000	71,000	109,000	133,500	94%	
2009	32	9,000	12,500	28,000	54,000	82,000	103,500	78%	$\blacksquare$
2010	33	9,000	13,000	29,000	56,000	85,000	107,000	103%	Δ
2011	34	9,000	13,500	28,000	55,500	83,500	106,000	99%	$\blacksquare$
2012	35	9,000	11,000	28,000	57,000	85,000	105,000	99%	
2013	36	9,000	11,000	28,000	61,000	89,000	109,000	104%	Δ
2014	37	9,000	12,000	28,000	62,000	90,000	111,000	102%	Δ
2015	38	8,000	11,000	33,000	68,000	101,000	120,000	108%	Δ

上記表の通り、近年は10万人~12万人程度の来場者が訪れており、減少傾向にあった2013年以降、増加の傾向が見られております。

過去最高: 1990年 第13回大会 365,000人 ※開催期間: 11日間

過去最低: 2012年 第35回大会 105,000人



### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙1. 来場者数推移

### くその他イベントにおける過去5年の来場者数推移>

(1)		· <b>/</b>		ZAUT	-0))	下物 日 双 1 上 1 夕 /
イベント名	開催年	開催回	来場者数	前回比	増減	備考
	2011	27	_	-	_	東日本大震災の影響で中止
大阪モーター	2012	28	41,552	101%	Δ	
サイクルショー	2013	29	49,422	119%	Δ	
リイグルショー	2014	30	55,016	111%	Δ	
	2015	31	57,754	105%	Δ	
	2011	38	_	-	_	東日本大震災の影響で中止
ま ニ こ た	2012	39	101,325	110%	Δ	
東京モーター	2013	40	110,158	109%		
サイクルショー	2014	41	113,830	103%	Δ	
	2015	42	132,249	116%	Δ	
	2011	23	-	-	_	東日本大震災の影響で中止
<b>- - - - - - - - - -</b>	2012	24	27,000	193%	Δ	
モータースポーツ	2013	25	23,000	85%		
ファン感謝デー	2014	26	19,000	83%	$\blacksquare$	
	2015	27	57,000	300%	Δ	HondaF1復活祭
鈴鹿	2014	1	10,250	_	_	クルージング: 1,495台
BIKE!BIKE!BIKE!	2015	2	10,100	99%	_	クルージング: 2,900台
淡路島	2013	1	12,000	_	_	
バイクフェスタ	2014	2	_	_	-	公式発表無し
	2011	15	217,037	103%	Δ	
	2012	16	205,756	95%		
大阪	2013	17	217,107	106%	Δ	
オートメッセ	2014	18	205,545	95%		
	2015	19	219,961	107%	Δ	
	2011	29	243,077	102%	Δ	
±÷	2012	30	255,709	105%	Δ	
東京	2013	31	282,659	111%	Δ	
オートサロン	2014	32	296,714	105%	Δ	
	2015	33	309,649	104%	Δ	
	2011	9	164,158	91%	•	
2-0	2012	10	166,671	102%	Δ	
名古屋	2013	11	166,554	100%	•	
オートトレンド	2014	12	168,379	101%	Δ	
	2015	13	175,453	104%	Δ	
			-,	2 170		



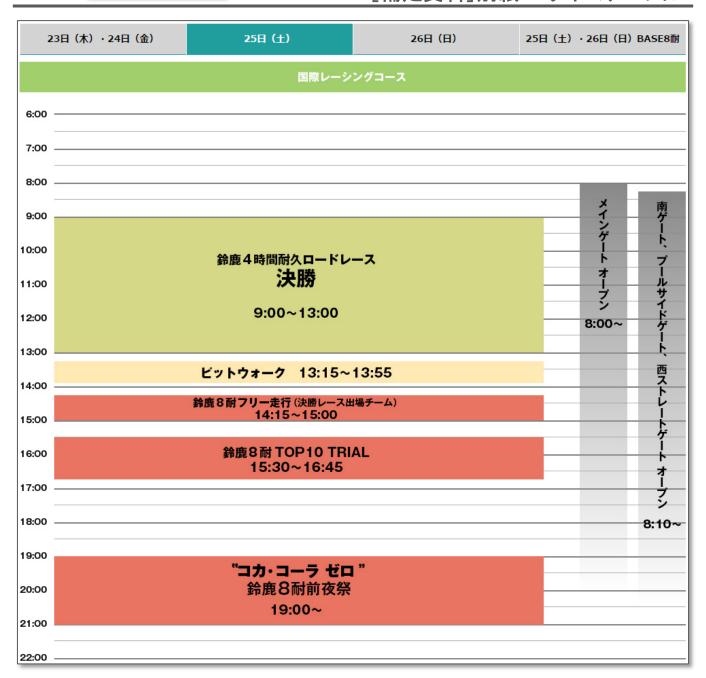
### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い 「補足資料]別紙2. タイムテーブル



※上記タイムテーブルは2015年度の鈴鹿サーキット特設ページ公開情報



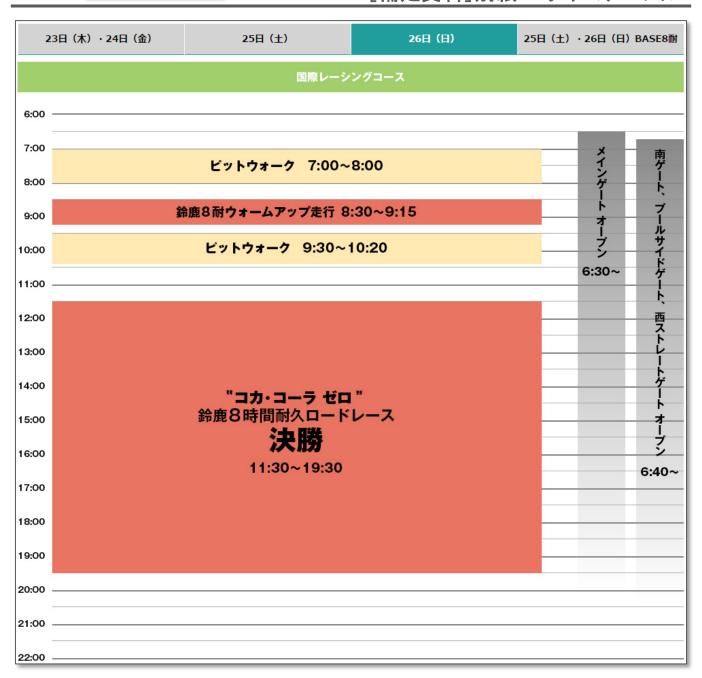
### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙2. タイムテーブル



※上記タイムテーブルは2015年度の鈴鹿サーキット特設ページ公開情報



### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙2. タイムテーブル



※上記タイムテーブルは2015年度の鈴鹿サーキット特設ページ公開情報



### 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙3. 予算詳細

### <予算詳細[トップ10目標]>

費用対象 施8耐 8耐ウィーク	単価	ALA, JUIL 2007	81	優先度	小計	備考
8耐ウィーク		必要数	n i	夜兀没	ומיני	调布
ブース利用費	¥600,000	2	¥1,200,000			スポンサー様のご意向次第
移動、車両運搬費	¥21,000	5	¥105,000	必須		
タイヤ代	¥80,000	30	¥2,400,000	必須		
燃料代	¥175	500	¥87,500	必須		
各種オイル代	¥5,800	40	¥232,000	必須		
人件費(スタッフ)	¥8,000	175	¥1,400,000	低		5日×35人
人件費(キャンギャル)	¥20,000	15	¥300,000	高		5日
宿泊費	¥7,000	175	¥1,225,000	必須		5日×35人
招待券代	¥23,000	25	¥575,000	必須		
プロモーションパス	¥54,000	3	¥162,000			
ピットルーム	¥150,000	- 1	¥150,000 ¥370,000	高 必須		
チームオフィス グリッドパス	¥370,000	1 25	¥80,000			
カーパス	¥3,200 ¥10,000	25 5	¥50,000	必須 必須		
国際ライセンス発行	¥17,000	5	¥85,000	必須		
食事代	¥500	525	¥262,500	必須		3食×35人×5日
飲料水	¥52,500	5	¥262,500	必須		OR TOPY TOP
ピット設営費	¥165,000	1	¥165,000	必須		
棚	¥7,000	4	¥28,000	必須		
コード・ケーブル・ホース等	¥40,000	1	¥40,000		V14 000 F00	
ブーステント	¥60,000	2	¥120,000	必須	#14,006,500	メインスポンサー様により変動
ケミカル	¥30,000	1	¥30,000	必須		パーツクリーナー・グリス・潤滑剤等
チームシャツ	¥8,000	100	¥800,000	必須		
レース用工具	¥800,000	1	¥800,000	必須		
タイヤウォーマー	¥68,000	5	¥340,000	必須		現状3セット保持しているが、要補充
発電機	¥300,000	3	¥900,000	必須		
送風機	¥250,000	2	¥500,000	必須		
原風機	¥20,000	3	¥60,000	必須		
クーラーボックス	¥15,000	4	¥60,000	必須		
冷蔵庫	¥18,000	2	¥36,000	必須		
洗濯機	¥25,000		¥25,000	<u> </u>		
調理器具・食器等 テーブル・イス等	¥80,000	1	¥80,000	必須		メク・ラボ・ルー 後ょう に いち動か可能を与け
レースクイーン衣装	¥80,000	9	¥80,000 ¥270,000	必須		メインスポンサー様カラーにより変動の可能性有り
モニター	¥30,000	5	¥150,000	必須		
ブール	¥10,000	1	¥10,000	必須		
エントリー費用	¥36,000	- 1	¥36,000	必須		
ペッド	¥10,000	3	¥30,000	- E		
カメラ・PC・デジタル機器	¥200,000	ĭ	¥200,000	富		
その他雑費	¥300,000	1	¥300,000	必須		
広告費						
特股ページ開設費	¥150,000	1	¥150,000	必須		
特股ページ運用費	¥30,000	12	¥360,000	必須	¥5,460,000	1年分
チラシ代	¥150	1000	¥150,000	必須	<b>#5,460,000</b>	
雑誌広告費用	¥200,000	24	¥4,800,000	必須		4誌×6カ月
8耐マシン製作費						
ベース車両費	¥1,652,400	1	¥1,652,400	中		
ベース車両費(予備)	¥1,652,400	1	¥1,652,400	中		
パーツ購入費	¥9,500,000	1	¥9,500,000	中	¥28,504,800	
パーツ購入費(予備)	¥14,200,000	1	¥14,200,000	Φ.		
人件費	¥5,000	300	¥1,500,000	中		3人×100日
練習費	VES SST	4.5	V/800 000	N 28		
コース使用料	¥50,000	10	¥500,000			
移動、車両運搬費	¥20,000	10	¥200,000	必須		Obul V10E
タイヤ代	¥80,000	30	¥2,400,000	必須	V4 000 000	3セット×10日
燃料代を選ナイル代	¥180 ¥5,800	500	¥90,000 ¥116,000	必須	<b>#4,206,000</b>	50リットル×10日 4リットル×5回
各種オイル代 人件費(スタッフ)	¥15,000	20 40	¥600,000	必須		4人×10日(宿泊費込)
その他雑費	¥300,000	1	¥300,000	必須		マスペ・10日(旧/日天心/
ライダー報酬	+500,000	-	+500,000	167-79K		<u> </u>
ライダー1	¥3,000,000	1	¥3,000,000	低		年俸(練習走行10回、予選·本番走行合計)
ライダー2	¥2,000,000		¥2,000,000	低		
ライダー3	¥1,000,000	1	¥1,000,000	低	¥7,000,000	年俸(練習走行6回、予選・本番走行合計) 年俸(練習走行4回)
	¥1,000,000	i	¥1,000,000	必須		トップ10入り時(完走は20万) タイム次第で分配
		•		~~		The state of the s
成功報酬(最大) 機器響		2	¥1,600,000	低		
機器費	¥800.000		,,			
機器費給油システム代	¥800,000 ¥350,000	2	¥700,000	必須	V7 444 444	
機器費		2	¥700,000 ¥800,000	必須 低	¥7,600,000	窒素タンク、ホース等
機器費 給油システム代 F/Rスタンド	¥350,000	2 1 3			¥7,600,000	窒素タンク、ホース等 1つスペア
機器費 給油システム代 F/Rスタンド ピット作業用ツール	¥350,000 ¥800,000		¥800,000	低	¥7,600,000 ¥66,777,300	並素ダング、ホー人寺



# 2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会 参戦における協賛のお願い [補足資料]別紙3. 予算詳細

### <予算詳細[今回目標]>

赤字:毎年必要となる費用			@L	<b>唐</b>	2 5 2 1	<b>唐</b> 基
費用対象	単価	必要数	計	優先度	小計	備考
鈴鹿8耐 8耐ウィーク						
移動、車両運搬費	¥21,000	5	¥105,000	必須		
タイヤ代	¥80,000	30	¥2,400,000	必須		
燃料代	¥175	500	¥87.500	必須		
各種オイル代	¥5,800	40	¥232,000	必須		
宿泊費	¥7,000	175	¥1,225,000			35人×5日
招待券代	¥23,000	25	¥575,000			90X × 0H
チームオフィス	¥370,000	1	¥370,000			
グリッドパス	¥3,200	25	¥80,000			
カーパス	¥10,000	5	¥50,000			
国際ライセンス発行	¥17,000	5	¥85,000	必須		
食事代	¥500	525	¥262,500	必須		35人×5日×3食
飲料水	¥100	525	¥52,500	必須		35人×5日×3本
ビット設営費	¥165,000	1	¥165,000			
ケミカル	¥30,000	i	¥30,000	必須		パーツクリーナー・グリス・潤滑剤等
チームシャツ	¥8,000	100	¥800,000	必須		7 7 7 7 7 7 7 AMPRITATE
調理器具·食器等	¥80,000	1	¥80,000	必須	1/0 07/ 000	
エントリー費用	¥36,000	1	¥36,000	必須	¥8,371,000	
その他雑費	¥300,000	i	¥300,000	必須		
All Control of the Co	¥7,000	4	¥28,000			
コード・ケーブル・ホース等	¥40,000	1	¥40.000	必須		
レース用工具	¥400,000	1	¥400,000			
タイヤウォーマー	¥68,000	2	¥136,000	必須		2セット補充
発電機	¥15,000	3	¥45,000	必須		レンタル料金(送料¥2500含む)、3台×7日
送風機	¥40,000	2	¥80,000	必須		レンタル料金(前受け金、ダクト込)、2台×5日
<b>鳳凰機</b>	¥3,500	3	¥10,500			レンタル料金(送料¥2500含む)、3台×7日
クーラーボックス	¥15,000	2	¥30,000	必須		
冷蔵庫	¥18,000	2	¥36,000	必須		
モニター	¥30,000	5	¥150,000	必須		
ブール	¥10,000	1	¥10,000	必須		
ブーステント	¥60,000	2	¥120,000	必須		メインスポンサー様カラーにより変動
レースクイーン衣装	¥30,000	9	¥270,000	必須		メインスポンサー様カラーにより変動
テーブル・イス等	¥80,000	1	¥80,000	必須		メインスポンサー様カラーにより変動
広告費						
特股ページ開設費	¥150,000	1	¥150,000	必須		
特股ページ運用費	¥30,000	12	¥360,000	必須	¥5,460,000	1年分
チラシ代	¥150	1000	¥150,000	必須	#0,400,000	
雑誌広告費用	¥200,000	24	¥4,800,000	必須		4誌×6カ月
8耐マシン製作費						
パーツ購入費	¥2,000,000	1	¥2,000,000	必須		
パーツ購入費(予備)	¥3,000,000	1	¥3,000,000	必須	¥5,750,000	
人件費	¥5,000	150	¥750,000	必須		3人×50日
練習費						
コース使用料	¥50,000	5	¥250,000			5日
移動、車両運搬費	¥20,000	5	¥100,000	必須		5日
タイヤ代	¥80,000	15	¥1,200,000	必須		3セット×5日
燃料代	¥180	250	¥45,000	必須	¥2,264,600	50リットル×5日
各種オイル代	¥5,800	12	¥69,600	必須		4リットル×3回
人件費(スタッフ)	¥15,000	20	¥300,000			4人×5日(宿泊費込)
その他雑費	¥300,000	1	¥300,000	必須		
ライダー報酬						
成功報酬(最大)	¥1,000,000	1	¥1,000,000	必須	¥1,000,000	トップ10入り時(完走は20万) タイム次第で分配
機器費						
F/Rスタンド	¥350,000	2	¥700,000	必須	¥700,000	
	4W &L				V00 E4E 000	
	総計				¥23,545,600	